

科目番号	52	科目名	環境社会学	
英文科目名	Environmental Sociology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	脇田 健一 (社会 学部 教授)			
教室名		会場		
授業期間	2021 年 9 月 21 日 (火) ~ 2022 年 1 月 18 日 (火) <毎週 火曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)	70	%	
	レポート試験 (期末)	30	%	
	平常点 (出席・授業態度)		%	
	その他 ()		%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p>【定員】 コロナの状況を鑑み、教室定員を超える申し込みがあった場合、抽選を実施する可能性があります。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 あらかじめ資料を配布した場合は、必ず、資料に目を通して予習をすること。また、宿題は必ず次回の授業時に提出すること。</p>			
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義概要】 この講義では、第二次世界大戦後の日本社会において発生した様々なタイプの環境問題を、その背景にある社会や経済の変化とともに歴史的に理解しながら、それらの環境問題との格闘のなかから生み出されてきた「被害構造論」、「受益圏・受苦圏論」、「生活環境主義」等の理論的枠組みや概念を学んでいく。</p> <p>【到達目標】 戦後日本の地域社会で生じた環境問題を考えるうえで必要な社会学的な知識や視点を獲得する。</p> <p>【講義方法】 講義形式で行う。教科書と授業中に配布するプリントを用いる。出欠はとらない。 ただし、履修者とコミュニケーションをはかるために、講義の最後に、あるいは宿題として簡単な感想やコメントを書いてもらうことがあるので注意すること(あらかじめ予告しない)。 また、授業期間中にレポートの提出も求める。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 21 日	イントロダクションと環境問題の歴史		
2	9 月 28 日	公害		
3	10 月 5 日			
4	10 月 12 日			

5	10月19日	大規模開発
6	10月26日	
7	11月2日	生活環境問題
8	11月9日	
9	11月16日	自然保護
10	11月30日	
11	12月7日	食と農
12	12月14日	
13	12月21日	身近な自然
14	1月11日	
15	1月18日	講義の振り返りとまとめ
<教科書・参考書> 【テキスト】 鳥越皓之・帯谷博明編 『よくわかる環境社会学第2版』（ミネルヴァ書房）3,080円 (ISBN:4623079341)		